



諏訪清陵SSH便り

諏訪清陵高等学校

3月号その1

平成26年度 第29号

(平成22年度指定)

2 学年 SSH コース生徒 31 名 海外研修（アラスカ研修）へ出発



本年度2学年SSHコース31人が3月2日(月)、5泊6日の日程でアラスカへ海外研修に出かけました。

本校SSH事業の海外研修は平成17年度の予備調査に始まり、今年で10回目に当たります。当時ちょうど国際極年(平成19～20年)に当たり、また、本校天文気象部が半世紀以上の歴史を持つ太陽黒点観測を実施していたことを踏まえて、アメリカ合衆国アラスカ州フェアバンクスでのオーロラをはじめとする極地観測、極地課題探究とアラスカ大学フェアバンクス校における英語による講義と実習の受講を行ってきました。

今年度も大学での12時間に及ぶ講義の受講と、1年間実施してきた課題研究を英語で発表することになっています。

出発にあたっては、2月27日に学校長、引率教諭、旅行会社の添乗員、そして参加生徒が集まり、研修旅行の結団式を実施しました。

学校長は本校SSH事業の教育理念を支える三澤勝衛の「実物に触れ、その中から自分自身の考えを導き出す」の言葉を引用されて「是非アラスカ現地での極地課題研究・観測そして大学での講義受講体験を五感をすべて使ってしっかり実施してくるよう」との激励を生徒諸君にされました。



念願のオーロラを観測することができました!!

現地時間の3月2日(月)16時30分ころ(日本時間3月3日10時30分ころ)無事アラスカ州フェアバンクス到着し、ホテルで夕食を自炊後早速フェアバンクス郊外の山岳地帯に出かけてオーロラ観測を実施しました。

幸い天候は晴れで、目的地に行く途中のバスの中からもオーロラが観測できました。

観測場所では北側の地平線の彼方に幾重にも輝く淡いオーロラが見え夢中でカメラのシャッターをきりました。

明日(日本時間4日)からは大学での講義受講と英語での課題探究発表を実施する予定です。

3月5日(日本時間)の14時から1年生SSHコース生徒が現地の2年生とスカイプを使ってインターネットミーティングを実施します。



フェアバンクス郊外のスキーランドの上空に出現したオーロラ